

3月20日

テーマ：「いつでも弁明できる準備を」

聖書箇所：ペテロの手紙第一 3章15節

◆今日のみことば

むしろ、心の中でキリストを主としてあがめなさい。そして、あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしていなさい。
ペテロの手紙第一 3章15節

◆メッセージ



「イエスさまとはどんな人ですか」と、友たちからたずねられることがあるかもしれせん。そのためにも、日頃から聖書を学んでおく必要があります。しかし、それで十分といえるでしょうか。わたしたちのなかには、弁明（聖書や神さまのことを説明すること）したり、証しすることを、苦手としている人がいます。わたしもその一人でした。でも、安心してください。いくら、言葉上手にイエスさまのことを話すことができたとしても、それでイエスさまのことが相手に伝わるとはいえないからです。

それは、心の中で、キリストを主とあがめながら、証しをすることを心がけるならば、言葉上手に説明できなくとも、イエス・キリストがどういうお方であるかが、相手に伝わるからです。

つまり、キリストを信じているその人の人柄（どんな人か、どんな生き方をしているか）が問題となります。イエス・キリストを信じている人とは、こうした人物であるのかということが相手に、よく伝わるが一番大切なこととなります。

キリストをあかしたり弁明したりしているつもりが、ただ、自分を弁護（自分を守ること）したり、弁明することに熱心であることがあります。そうならないように、お互い、注意したいものです。

言うことを準備するだけでなく、「心の中でキリストを主とあがめながら証しする」。これが、大切なことです。



◆お祈り

「イエスさまを、心から主とあがめます。私を福音を伝える者として用いてください。」

(支援教師 結城晋次)